



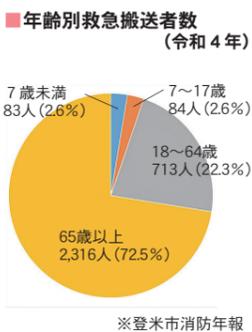
# 9月9日は救急の日 大切な命を救う

9月9日は「救急の日」です。救急業務および救急医療に対する正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に定められました。また、この日を含む1週間は「救急医療週間」として、全国的に救急医療に関する啓発活動などが実施されます。いざというときに何ができるのかを知っておくことは、命を守るためにも必要です。本市の救急医療の現状から、今私たちにできることを考えます。

本当に必要としている人のために  
救急車の利用は適切に

## 救急搬送の現状

急な病気やけがなどにより、緊急で治療が必要な人を医療機関へ搬送する救急車。登米市で令和4年に救急車により搬送された人は3196人で、対前年比で268人増加しています。このうち、死亡・重症・中等症の傷病者の割合は全体の67.4パーセント。一方、入院の必要がない軽症の傷病者の割合は、32.6パーセントとなっています。



## 多くの命を救うため 救急通報の適正利用を

救急需要は今後も増大する可能性が高いことが示されており、救急医療を取り巻く課題の一つとなっています。

## 迷ったときは、 電話相談窓口へ

軽い症状であるにもかかわらず救急車を呼んだり、救急車をタクシー代わりにしたりすることなどが問題となっています。重篤ではない症状やいたずらの通報は、救急隊の処置や搬送を本来に必要としている人への対応を遅らせることとなります。119番通報を適正に利用し、多くの命を救えるようにご理解をお願いします。



消防本部指令課  
齋藤 和彦 係長

## 消防サービスの高度化を 目指して

市消防本部は、複雑で多様化する消防需要に広域的に対応するため、石巻地区および気仙沼・本吉地区の消防本部と、消防通信指令に関する事務を共同して管理、執行する「宮城県東部消防指令センター」を、令和8年4月1日に運用開始する予定です。これにより、管轄6市町の119番通報を、石巻市に設置する共同消防指令センターで一手に受け、各地区の境界付近の現場には、近くにいる緊急車両を管轄を越えて出動させるなど、消防サービスの向上に取り組みます。

【問い合わせ】消防本部指令課  
☎0220(22)0119

## 高齢者の搬送が増加

近年、特に高齢者の救急搬送件数が増え続けています。令和4年の市内の救急搬送者を年齢別にみると、65歳以上の高齢者の割合が72.5パーセントを占めています。総務省消防庁の将来推計によると、高齢化の進展などにより

市消防指令センターでは24時間体制で119番通報を受け付け、通報者からの確に情報を聴取し、要請のあった現場へ迅速に救急隊を出動させています。救命における119番通報は、早急な処置が必要な傷病者のもとへ救急隊を出動させ

急なけがや病気をしたときに、救急車を呼ぶかどうか判断に迷ったら、かかりつけ医に電話するか、休日夜間は電話相談窓口(大人の患者は#7119、15歳未満の

**おとな救急 電話相談 #7119**  
【相談時間】平日:午後7時~翌日午前8時  
土曜日:午後2時~翌日午前8時  
日曜日・祝日:24時間受付

---

**子ども夜間 安心コール #8000**  
【相談時間】毎日午後7時~翌日午前8時

